

福祉の授業

7月号

2 学年 「児童福祉実習及び講話」

7月7日（火）実習

場所：認定こども園こどもの丘

内容：絵本の読み聞かせ

子どもたちとのふれ合い



7月8日（水）講話

場所：涌谷高校

講師：こどもの丘園長 鎌田史乃様

内容：児童福祉の現状と課題



<生徒感想>

職員の方は、子どもの目線に合わせてゆっくり話をしていました。また、ダメなことはダメときちんと注意しており、接し方がうまいと改めて思いました。子どもがやりたいことがあった時には、手伝わずに自分でやらせ、黙って見守ろうと思います。

大人は子どもがやりたいと言ったことは否定せずにやらせてあげたり、成長を邪魔しないような行動をとったりすることが大切だと学びました。私もこれから子どもと遊ぶ機会があったら心配する気持ちを抑えて、本当に危ない時以外は見守っていききたいと思います。

3 学年 「認知症サポーター養成講座」

7月13日（月）講話

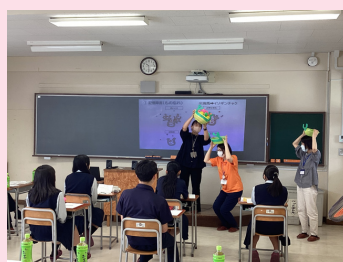
講師：老人保健施設さくらの苑 佐々木敦様 佐藤康弘様

日下亜希子様 中塩春美様

涌谷町福祉課

尾梶忍様 阿部千弘様 大久保亜里沙様

内容：認知症の種類や症状、認知症の方への接し方、認知症予防の体操など



<生徒感想>

認知症について正しく理解することができました。認知症の方が困っていたら、驚かせない、否定しない、急がせない、自尊心を傷つけないの4つを守って優しく声をかけたいと思いました。

新しい認知症観の「認知症になってもできること、分かることはたくさんある」ということを広めていきたいと思いました。夏休みの実習では、今日学んだことを意識し、利用者の方と接していきたいです。